

車座会議会議概要

招集年月日 平成30年8月21日(火)

招集場所 地域交流センター 交流ホール

出席議員 13名

1番	静 好洋	2番	田村 信幸	3番	山崎 篤史
4番	山上 健造	5番	福永 敏行	6番	柏木 岳
7番	古野 司	9番	照原 廣幸	10番	株田 茂
11番	連記かよ子	12番	新居 敏弘	13番	久川治次郎
14番	大澤夫左二				

欠席議員 1名

8番 田中 久保

欠 員 なし

傍 聴 徳島新聞

議会事務局 2名

局長 岡川 千歳 書記 東上 由里香

林業関係者 18名

榊野 千秋	中西 泰志	植田 章浩	坂中 裕二
播野 健太	井上 彰文	中原 敏博	奥野 喜吉
西原 正彦	西原 巧典	大田 浩二	辻 浩太郎
日野 泰輝	檜谷 誠一	檜谷 将志	中原 和樹
亀井 裕人	橋本 忠久		

午後7時30分 開会

進行：久川議員

議長あいさつ

榊野さんあいさつ

自己紹介

議会改革の歩みについて

○柏木議会改革調査特別委員長：ダイジェスト版で説明をする。

意見交換

討議テーマ

- ① 林業の現状と課題について
- ② 那賀町の林産業の振興について
- ③ 行政や議会に対する要望について

○意見発表

1班・・・久川議員、新居議員、田村議員
榊野千秋、播野健太、中原和樹、奥野喜吉

○田村議員：現状と課題については木材の原価が非常に安いのでどう改善していくか。これについては「これだ」という答えがなかなか出ないが、町の中心である林業をしっかり活性化するために様々な方策を考えてほしいという意見が出された。

林産業の振興策としてこれだけの素晴らしい林業資産がある以上、更なる林道、作業道の整備が大切である。特に作業道の整備については、モノレールが非常に有効であるという意見が出された。

林業アカデミーや那賀高校の森林クリエイト科の卒業生も4月から出ることから若い人が増えてくると思う。若い人を受け入れるためには住宅と食事ができるところは欠かせない。寮のようなものを用意できないか。現在休校中の学校施設を活用して特に独身の方に宿泊施設を提供しつつ、食事を作っただけの方を雇って若い人が快適に住みやすい場所があればよい。また、給与や福利厚生についてもしっかりと充実させてほしいという意見も出た。

要望については次年度以降、国の方から提供される森林環境税における森林整備について役場の役割をしっかりと認識していただく。環境税の使用法について100%木材を使った住宅を整備した時には環境税そのものを活用

できるなど行政の方からプッシュしていただく。那賀町の林業を広げていって
もらいたいという意見であった。

2班・・・連記議員、株田議員、柏木議員

中西泰志、井上彰文、西原正彦、日野泰輝、亀井裕人

○亀井さん：意見は同じようなものであると思うが、現状と課題については材価が低迷
している。作業道が少なくなっている。若手が減っている。若手がもし来
たとしても独身者が少ない。30代で徳島市内から通う独身者は住むとこ
ろがないので、増やして独身者を呼ぶ。また、呼んだ若手が休日をどう過
ごすかという課題が出た。若い子はすぐに機械を操縦できると思って入っ
てくる子が多いが、実際は歩いたり、チェーンソーを使わないといけな
い。理想と現実の違うところがネックである。林業の定着率は若い子を呼
んでも50%ぐらいである。それを悪いと考えず、残ってくれたことを良
しとしてどんどん募集をかけてやめる方にはやめてもらって残る方を増や
していく。やめる時もやめた人の本音を聞いてその意見を会社も取り入れ
ながら変わっていかないといけない。やめる理由の一つとして同じ年齢層
の作業班を作っていく。苗木業者が少なくなってきた。林道の管理に
もっと力を入れてほしいという意見が出た。

振興については川下の製材、大工のニーズを考えて直売する。輸出する
というような意見が出た。

要望は寮を建設して1日3食作ってもらいたい。できれば、寮の横に居酒
屋もつくって若い子同士で今日あった仕事などの意見交換ができる場所が
あればよいと思う。何年か前まで林業従事者の社会保障があったが、今は
なくなっている。それに変わって緑の雇用という制度がある。3年生まで
は補助金が出るが、3年過ぎてもまだまだ一人前ではないので、4年目以
降は町で補助をしてもらいたい。そうすると会社も雇用するきっかけにな
ってよいと思う。ビジネスセンターは川上と川下の林業や製材の木材のニ
ーズをマッチングするのが目的であるというのでそれを期待している。森
林環境税を使えるように分かりやすく教えてもらいたい。雇ってもらいた
いという情報を集めてほしいという意見もあった。

3班・・・大澤議員、山崎議員、静議員

植田章浩、辻浩太郎、西原功典、樫谷誠一、橋本忠久

○山崎議員：重なっている部分もあると思うが、仕事はあるが、人手が足りない。機械
が動かなくなってしまうと仕事にならない。木の駅は間伐した材を出せる
ようになっているので続けてほしい。設備投資の資金、補助金を小さな規
模でも摘要してほしい。個人の山への営業が難しい。測量やチェーンソー
を使わない仕事があって伐る、出すの3点セットだけが林業の仕事ではな
い。下草を刈ったり、植え付けたり、ネットをはったりが大変でコストカ

ットには限界がある。そこに森林環境税の手当をしてほしい。補助金の縛りが厳しい。森林経営計画の内容が細かくて林業振興の足かせになっている。それについては副町長より新たな森林経営計画への移行があるだろうと言っていた。営業が難しいという流れの中で、山主さんとマッチングするのが難しい。きっかけがないという意見が出た。側溝を整備したり、管理する人が必要である。

住むところや移住者に対する手当が必要である。働き始めの方には緑の雇用が3年間あるが、その後は補助がないので施策を考えてほしい。宿舎についてもいろいろ議論が出た。今、1人下宿させているが、また次の人も下宿させるのは辛いという意見もあった。

4班・・・古野議長、熊原議員、福永議員、山上議員
坂中裕二、中原敏博、大田浩二、樫谷将志

○坂中さん：ほとんど同じ意見であるが、課題としては後継者不足、搬出班は大事であるのでずっと続けていただいて、造林班は別につくる。新人教育の問題で緑の雇用はあるが、3年以降も補助が必要である。独身者や家族向きに対応した住宅を整備する。伐採や造林などモノレールを利用して仕事に通うことも必要であると思う。所有者の明確化。那賀町の架線の技術はたいへん優れていると思うので他の事業体と連携をして架線の技術を伝えていく。

まとめ

○久川議員：今回、林業の現場に出ている方々とこのような会を持ったが、1時間ぐらいでは語り尽くせないこともあったと思うのでまた機会を見て再度、このような会を開きたいと思う。那賀町にとっては林業が基本になると思うので、どうぞよろしくお願いしたい。今回、いただいた意見については今後町と一体となって林業の活性化へ向けて勉強をして、できることがあれば一生懸命努力していきたい。ここにいる皆さんは那賀町の林業に期待をしている人物であると思うので、どうぞお体には留意されてまたご意見を聞かせていただきたい。我々は皆さんの意見を参考にしてこれからの議会活動に努めていきたいと思う。本日はありがとうございました。

午後8時55分 閉会